

科目名	祖典講読 IC						学期	前期
副題	『即身成仏義』を読む 1				授業方法	講義	担当者	土居夏樹
ナンバリング	M2-01-203	実務経験の有無	無	関連DP	1, 2	単位数	2	他

授業の目的と概要

密教とは何か。即身成仏とは何か。弘法大師空海の『即身成仏義』はこの問い合わせを追求する古典的名著である。即身成仏は、弘法大師の核心的な教えであり、この教えについて原典から直接学ぶことは、真言宗とは何かを知るためにも必要不可欠なことである。授業では、この思想の背景にある仏教思想を確認しつつ、原典（漢文）の流麗な文章表現を音読しながら味わい、ゆっくりと読み進めてゆく。

授業の到達目標

弘法大師空海の原典に親しみ、その基本的概念・思想を把握して、説明できるようになる。

授業計画

- 講義の進め方とテキストの紹介
- 成仏とは？—三劫成仏と即身成仏—
- 『即身義』の撰述時期と異本『即身義』
- 四声読み
- 『即身成仏義』を読む（1）発端問答
 - （2）二經一論八箇の証文①『金剛頂經』
 - （3）二經一論八箇の証文②『大日經』
 - （4）二經一論八箇の証文③『菩提心論』
 - （5）二頌八句①即身の頌（前編）
 - （6）二頌八句②即身の頌（後編）
 - （7）二頌八句③成仏の頌（前編）
 - （8）二頌八句④成仏の頌（後編）
 - （9）「六大無碍にして常に瑜伽なり」①六大の秘義（前編）
 - （10）「六大無碍にして常に瑜伽なり」②六大の秘義（後編）
- 前期のまとめ—即身成仏思想の特徴

準備学習（予習・復習）・時間

- 事前学習として、該当箇所の素読を行うこと（60分）。
- 事後学習では、配布された資料を参考に素読および語句・内容の確認を行うこと（60分）。
- その他の学習については講義内で指示する（60分）。

テキスト

- 高野山大学編、『十巻章』、高野山大学出版部（←難波サテライト事務室で購入）

参考書・参考資料等

- ①中川善教『漢和対象十巻章』、高野山出版社 ②梅尾祥雲『現代語の十巻章と解説』、高野山出版社 ③小田慈舟『十巻章講説』上巻、高野山出版社 ④松長有慶『訳注即身成仏義』、春秋社
- ※その他、授業において指示する。

学生に対する評価

授業中の素読・発表など（40%）、期末テスト（60%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

- (C) 「発端問答」と「二頌八句」を暗誦できる。
- (B) 「発端問答」と「二頌八句」を暗誦でき、「二經一論八箇の証文」の内容を把握している。
- (A) 「発端問答」と「二頌八句」の暗誦、「二經一論八箇の証文」の内容把握に加えて、基本的な用語を把握している。
- (S) 上記 (C) ~ (A) を踏まえ、即身成仏思想の特徴を説明できる。

課題に対するフィードバックの方法

定期試験の総評を行い、復習すべき点及び多くの学生が不正解であった問題を中心に講義をする。

その他

- 素読や基礎用語の解説など、授業内で指名して答えてもらうので、必ず予習して授業に臨むこと。
- わからない単語に出会ったら、辞書を引くなど、調べる習慣を身に付けること。
- 毎回資料を配布する。万が一欠席した場合は、次回までに担当者研究室に取りに来ること。